

課題曲

事務局は、予備審査、第1次予選、第2次予選、本選の課題曲をそれぞれ設定する。
コンクール期間を通じて、伴奏楽器(ピアノ、チェンバロ、オーケストラ、室内楽)のピッチは A=442Hz、第2次予選のチェンバロは平均律で調律するものとする。

1. 予備審査(動画審査)

下記課題曲1曲を演奏し、録音・録画すること。

- 1) ポンキエツリ:カプリッチョ
【出版社:指定なし】

2. 第1次予選(動画審査)

下記課題曲2曲を演奏し、録音・録画すること。(曲順任意)

- 1) G. Ph. テレマン:無伴奏フルートのための12の幻想曲より第11番ト長調 TWV40:12
[繰り返しすべてあり]
【出版社:Bärenreiter/ Henle】
- 2) P. ヒンデミット:オーボエ・ソナタ
【出版社:Schott】

3. 第2次予選(日本での公開審査)

<A><C>のグループからそれぞれ1曲、計3曲を選択し、45~55分のリサイタルを構成するように演奏すること(入退場含め60分以内)。なお無伴奏曲の選択は、最大1曲とする。(曲順任意)

<A>

- 1) J. S. バッハ:ソナタト短調 BWV1030b
[3楽章のみ繰り返しなし]
【出版社:Peters】
- 2) J. S. バッハ:無伴奏フルート(オーボエ)のためのパルティータ イ短調 BWV1013(ト短調で演奏すること)
イ短調またはト短調で演奏すること
[全楽章とも最初の繰り返しのみ]
【推奨出版社(ト短調の場合):Karthause-Schmülling (Birgit Welpmann 校訂) / Alexander Gagarinov*
(IMSLP=International Music Score Library Project)】
望ましい出版社(イ短調の場合):Henle / Bärenreiter】
~~*バッハの間違いを正して演奏すること。~~
*SarabandeとBouree anglaiseに関して、一般に知られている“バッハの間違い”そのものを、バッハ自身が間違いと考えていない可能性があるため、修正せず演奏すること。いずれにせよイ短調、ト短調いずれも可。
- 3) F. クープラン:《趣味の融合 または新しいコンセル集》よりコンセル第7番、または第9番、または第11番
[チェンバロ伴奏、繰り返し任意]
【出版社:Fuzeau】

- 1) A. ドラティ:協奏的二重奏曲
【出版社:Boosey & Hawkes】
- 2) D. ミヨー:オーボエとピアノのためのソナチネ op.337
【出版社:Durand】
- 3) N. スカルコッタス:ソロ・オーボエとピアノ伴奏のためのコンチェルティーノ
【出版社:Margun】
- 4) A. パスクッリ:ドニゼッティ「ポリウート」の主題による幻想曲
【出版社:Musica Rara (Breitkopf & Härtel)】
- 5) A. パスクッリ:ヴェルディ「シチリア島の夕べの祈り」の主題による大協奏曲
【出版社:Musica Rara (Breitkopf & Härtel)】
- 6) G. シルヴェストリーニ:6つの練習曲より 第 1,2,5,6 曲
【出版社:Delatour】
- 7) 細川俊夫:《スペル・ソング—呪文のうた—》オーボエのための
「第 11 回 国際オーボエコンクール・軽井沢」のための公益財団法人ソニー音楽財団委嘱作品
【出版社:Schott】

<C>

- 1) W. A. モーツァルト:オーボエ協奏曲 ハ長調 K.314(285d)
[暗譜、ピアノ伴奏]
【出版社:Breitkopf & Härtel (Henrik Wiese 校訂) / Henle (Ingo Goritzki 校訂) / 最新の Bärenreiter (Frank de Bruine 校訂)*】
*この版を使う場合には、“オッサリア・ヴァージョン”を演奏すること
- 2) B. マルティヌー:オーボエ協奏曲 H. 353
【出版社:Max Eschig(M. Bourgue & G. Porat 校訂)】
- 3) R. ヴォーン=ウィリアムズ:オーボエ協奏曲 イ短調
【出版社:指定なし】

4. 本選（日本での公開審査）

以下の 2 曲を演奏すること。

- 1) W. A. モーツァルト:オーボエ四重奏曲 ヘ長調 K. 370 (368b)
[弦楽伴奏、最初の繰り返しあり]
【出版社:Bärenreiter / Henle / Fuzeau】
- 2) R. シュトラウス:オーボエ協奏曲 二長調 AV144
[暗譜、オーケストラ伴奏]
【出版社:Henle】